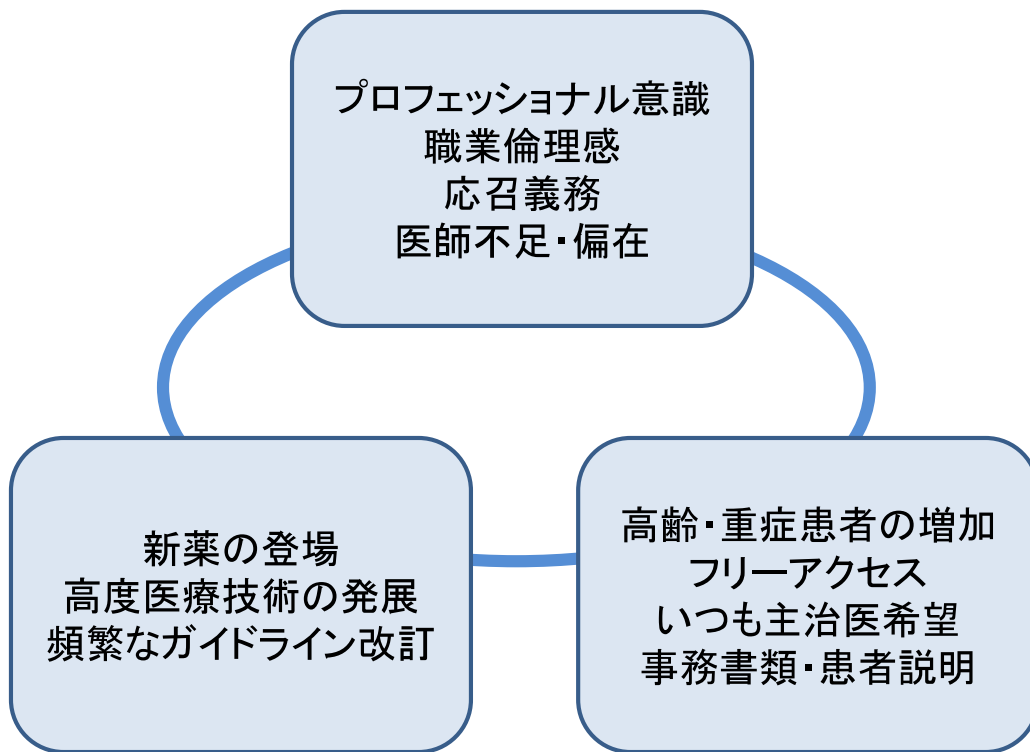




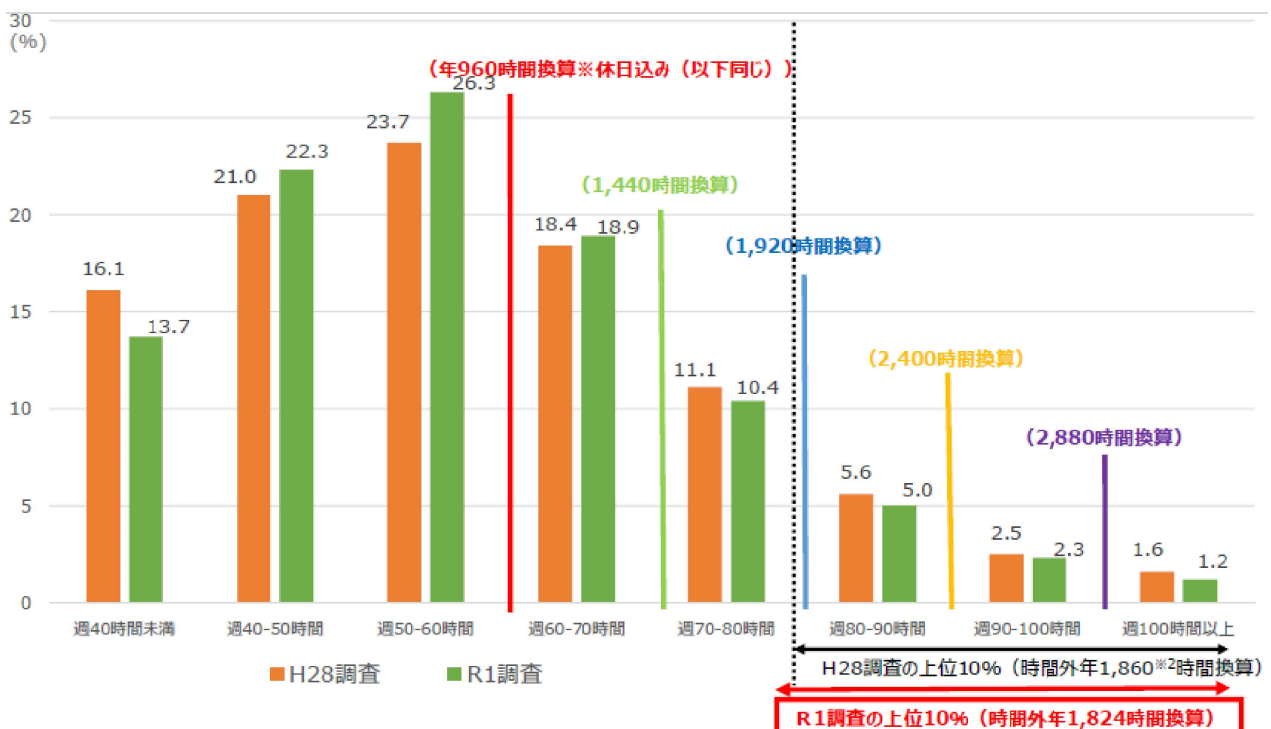
# 過重労働 3つの因子



Copyright(C) 2017 High-Z Inc. All Rights Reserved.

3

## 病院常勤勤務医の週労働時間の区分別割合



※1 H28調査、R1調査ともに、兼業先の労働時間を含み、指示無し時間を除外している

※2 H28調査ではグラフにおける分布の上位10%は年1,904時間であったが、雇用管理の便宜上、12月で割り切れるきりのよい近似値として1,860時間としている

※3 R1調査では宿日直許可を取得していることがわかっていない医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を労働時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っていることに留意が必要

※4 週労働時間の区分別割合は、小数点第2位で四捨五入している

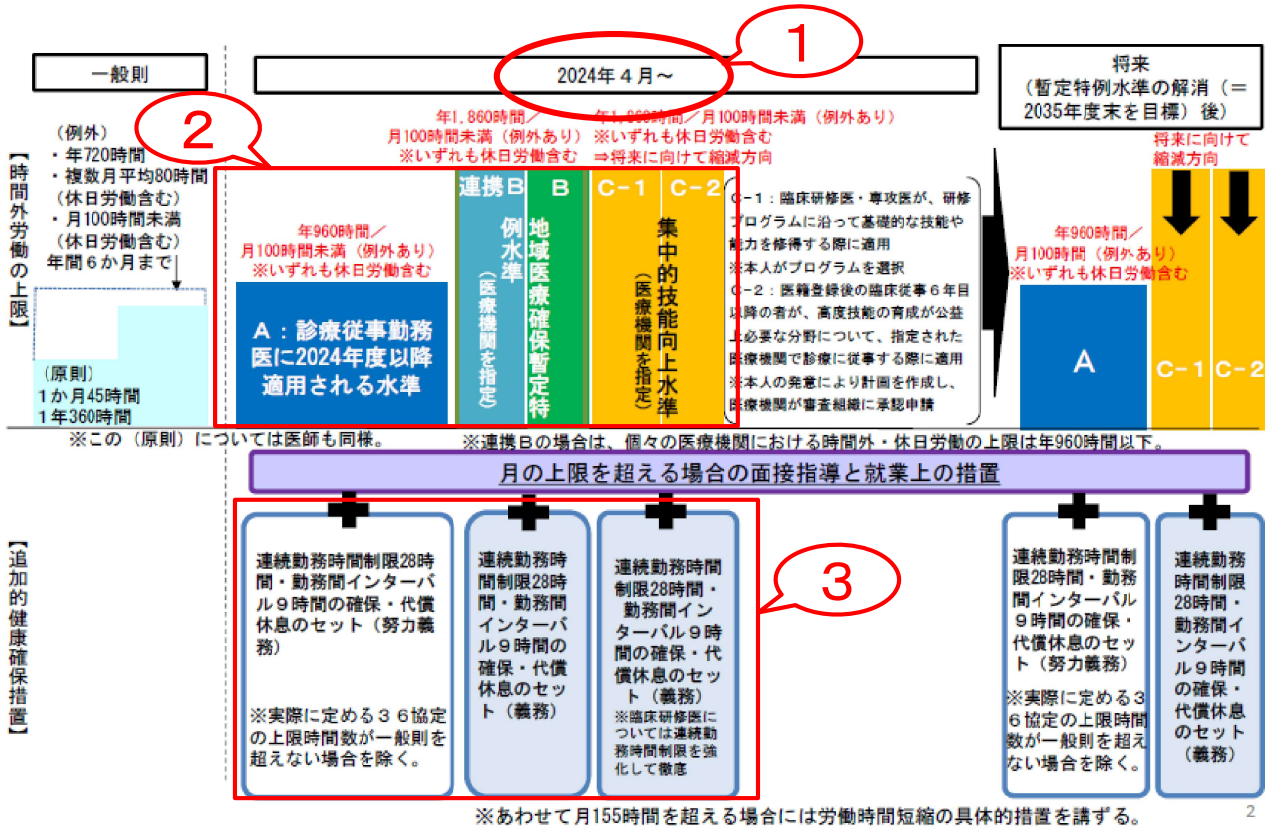
36

関係する検討会  
https://www.mhiw.go.jp/content/10800000/000693029.pdf

Copyright(C) 2022 High-Z Inc. All Rights Reserved.

4

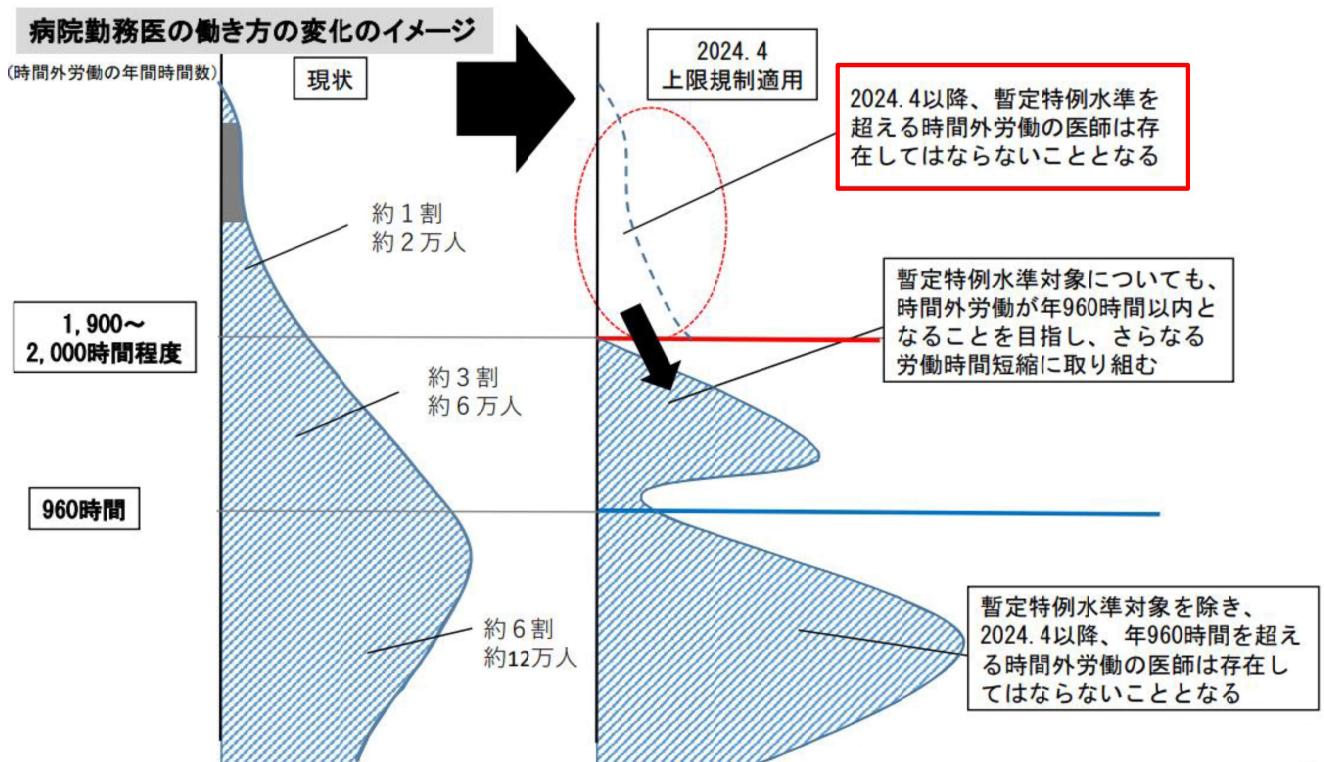
# 医師の時間外労働規制について



厚生労働省「第14回医師の働き方改革の推進に関する検討会」  
https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000693029.pdf

Copyright(C) 2022 High-Z Inc. All Rights Reserved.

## 2024年4月とその後に向けた改革のイメージ



厚生労働省「第14回医師の働き方改革に関する検討会資料」

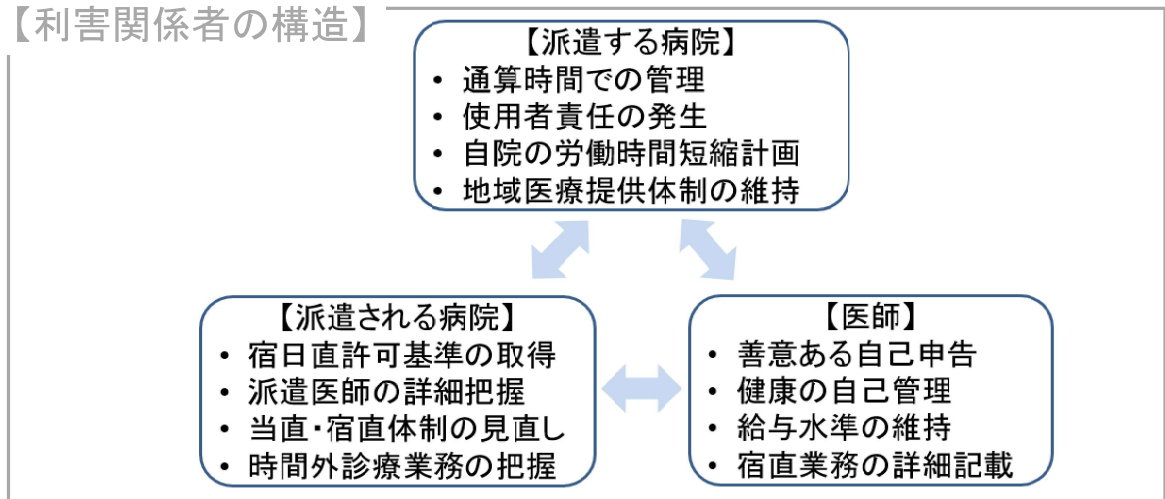
Copyright(C) 2022 High-Z Inc. All Rights Reserved.



# 複数機関に勤務する医師の労働時間短縮の取組

- 副業・兼業先の時間外労働は**自己申告**をベースに**通算管理**
- **主たる勤務先の使用者**が監督責任
- 副業・兼業先を含めた**全体での労働時間の短縮**を図る
- 自院一副業・兼業先間での調整も必要

## 【利害関係者の構造】



Copyright(C) 2022 High-Z Inc. All Rights Reserved.

7

# 上手な医療のかかり方を広めるための懇談会



## 「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト5つの方策

- ① 患者・家族の不安を解消する取組を最優先で実施すること
- ② 医療の現場が危機である現状を国民に広く共有すること
- ③ 緊急時の相談電話やサイトを導入・周知・活用すること
- ④ 信頼できる医療情報を見やすくまとめて提供すること
- ⑤ チーム医療を徹底し、患者・家族の相談体制を確立すること

Copyright(C) 2022 High-Z Inc. All Rights Reserved.

8

# まず各関係者がすべきことをきちんとする

	医師個人	診療科	病院	地域
最優先事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働時間の把握(副業も通算)</li> <li>業務の棚卸</li> <li>仕事終了ですぐ帰宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の周知</li> <li>労働時間把握</li> <li>労務管理の徹底</li> <li>自己研鑽のルール周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の周知</li> <li>労働時間把握</li> <li>宿日直許可の取得検討</li> <li>多忙診療科の地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療連携の推進</li> <li>多忙診療科の集約化</li> <li>地域医療構想の実現</li> <li>医師偏在対策</li> </ul>
積極的検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>タスクシフト・シェアできる業務の洗い出し</li> <li>自身が何を大事にしているか</li> <li>将来キャリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム制</li> <li>複数主治医制</li> <li>シフト制</li> <li>フレックス制</li> <li>パートタイムの活用</li> <li>タスクシェア・シフト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給与体系の見直し</li> <li>人事考課の見直し</li> <li>人員確保</li> <li>地域内での病院のあり方の再考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ医機能の更なる明確化</li> <li>上手な医療のかかり方の推進</li> <li>第8次医療計画</li> </ul>

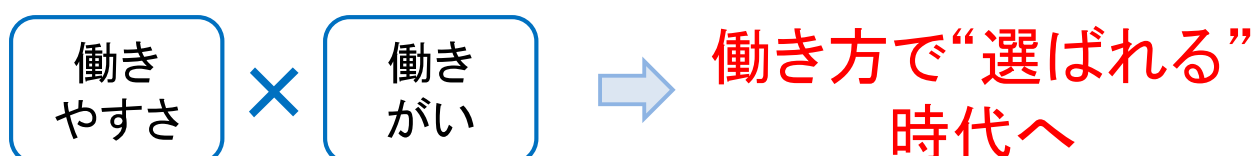
## 働き方改革のインパクト

### ■ 医療職の自己犠牲はもはや通用しない

- ・ 当たり前の労務管理が必須、嚴重な健康確保措置が義務化
- ・ 医療職が集まらない・続かない病院は生き残れない

### ■ 働き方改革は経営課題である

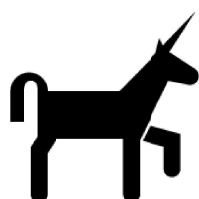
- ・ 医師労働時間短縮計画⇨中期経営計画
- ・ チーム制・複数主治医制への提供体制の変更
- ・ 医師が少ないなら優秀なシェア先・非常勤の確保・育成



## 今後の方向性

- 財政補助や診療報酬により働き方改革を推進
- 都道府県の医療勤務環境改善支援センターの利活用
- 厚生労働省の通知・解釈の発出、専門窓口設置
- 地域医療構想による地域の病院機能の集約化・連携の促進
- 医師不足・偏在の解消
- 医療提供体制に対する国民理解の促進

- 医師労働時間の適正な実態把握は急務、労務管理の徹底
- 3つの水準に向けた戦略策定と院内整備
- 経営層・リーダーからの職員への働き方改革の意義の周知
- 効果的なタスクシェア・シフトを設計・実行し、時短計画の確実な遂行を
- 新たな働き方に即した新時代の病院づくり・組織づくりを



# High-Z

ご清聴ありがとうございました

ご質問: [hai@highz-inc.com](mailto:hai@highz-inc.com)

病院経営に関するつぶやき  
Twitter: [@haieishu](https://twitter.com/haieishu)

## プロフィール

**妻 英洙（はいえいしゅ）**

**ハイズ株式会社 代表/慶應義塾大学大学院 特任教授**

医師、医学博士、MBA。奈良県出身。1998年医師免許取得後、金沢大学第一外科に入局、金沢大学をはじめ急性期病院にて外科医として勤務。大学院では外科病理学を専攻。勤務医時代に病院におけるマネジメントの必要性を痛感し、10年ほどの勤務医経験を経て、慶應義塾大学院 経営管理研究科（慶應ビジネススクール）に入学。首席で修了し MBA（経営学修士）を取得。現在、病院経営に特化したコンサルティング会社のハイズ株式会社代表として、全国各地の病院経営のアドバイザーとして活躍中。また、アカデミックの分野では慶應義塾大学大学院 特任教授はじめ複数の大学院で教職を務め、病院経営に関して教鞭を取る。さらに、厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」や「医師需給分科会」の公職を歴任。日経メディカルや日経ヘルスケア等で連載を書き、発刊された書籍は通算 15 万部以上のベストセラーとなっている。

### 【その他公務等】

- ・慶應義塾大学医学部 特任教授
- ・慶應ビジネススクール 特任教授
- ・高知大学医学部附属病院病院長 特別補佐
- ・高知大学医学部 客員教授
- ・横浜市立大学医学部 客員教授
- ・厚生労働省「医師需給分科会」構成員
- ・厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」構成員
- ・厚生労働省「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」構成員
- ・厚生労働省「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」構成員
- ・公益財団法人健康予防医学財団 理事
- ・NPO法人「がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会」理事
- ・一般社団法人医志教育研究所 代表理事
- ・高知県 医療 R Y O M A 大使

### 【出版・連載】

- ・日経メディカルオンライン 連載中
- ・日経ヘルスケア 連載中
- ・日経ドラッグインフォメーション 連載中
- ・単著「医療職が部下を持ったら読む本」（日経 BP 社）
- ・単著「医療職が部下に悩んだら読む本」（日経 BP 社）
- ・共著「MBA 流ケースメソッドで学ぶ 医療経営入門」1, 2（日経 BP 社）
- ・監修「3 ステップで成果を上げる！チームビルディング超入門」（メディカ出版）

その他、連載・講演多数